

第66回

難病・遺伝医学 セミナー

講演：凍結保存可能ミトコンドリア製剤MRC-Qによるミトコンドリア病
治療の新展開

2025年

11月19日 水 18:00-19:00

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

講師紹介：菅沼 正司先生

(ルカ・サイエンス株式会社 創業者・代表取締役会長)

(医療法人 菅沼医院 理事長・院長)

座長：岡崎康司（難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター）

司会：村山圭（難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター）

概要：ミトコンドリア病は遺伝子変異による呼吸鎖機能障害でATP産生低下や酸化ストレス増加を引き起こし、多臓器障害を呈する指定難病である。治療は対症療法が中心で根本的治療薬は存在しない。ルカ・サイエンスは2018年、細胞から高品質ミトコンドリアを抽出する技術を基に創業し、凍結保存後も機能と構造を保持するミトコンドリア製剤MRC-Qを開発中である。大量製造・均一性・保存安定性を確立し、医薬品として安定供給可能な点が特徴。MRC-Qはヒト正常細胞だけでなく患者由来細胞でも酸素消費率を上昇させ、PGC-1 α 発現を介して内因性ミトコンドリア新生を促進する。既存薬より強力な作用を示し、Leigh症候群モデルマウスで生存期間延長や運動機能改善も報告された。今後は多様な病型に対する有効性や安全性を患者細胞で検証し、根治療法のないミトコンドリア病への新規治療薬として開発を進める。

申込方法：以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。

※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/fBqj7wKpFGUAwdF56>

本講演はハイブリッド形式（現地+Zoom）

にて開催いたします。

11月18日（火）17時締切



お問い合わせ

難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター

村山/金野（内線72462/5794）

共催：順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP

